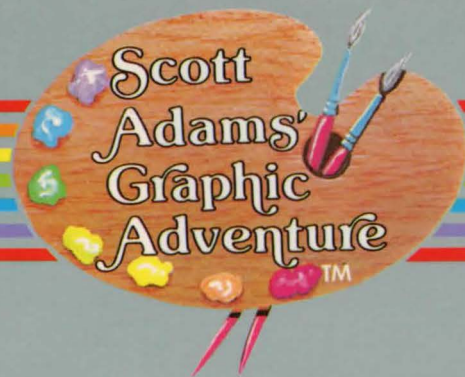


S.A.G.A.# 3

MISSION IMPOSSIBLE





ミッション インポシブル

こんにちは 諸君！

アドベンチャー インターナショナル サガ シリーズ#3「ミッション インポシブル」へようこそ。

諸君は「ミッション インポシブル」というTVドラマを御存知だろうか。そう日本でも「スパイ大作戦」というタイトルで一時は茶の間を賑わしたものである。私はそのドラマの主人公ジム フェルプスで今回アドベンチャー インターナショナルの通称ミスター アドベンチャーことスコット・アダムス君が同じタイトルでアドベンチャー・ゲームを出した。そして、その主人公に私がまた抜擢され、テレビ界のみならずゲーム界にまで進出してしまった次第である。又、懐しのあのテープレコーダーまで登場し私も昔を思い出して任務完遂の闘志に燃えたのであるが私が活躍したのは10数年前のこと、すっかり年老いてしまい任務完遂は不可能と思われる。そこで諸君に私、ジム フェルプスとなってこの任務を完遂してもらいたい。

最新技術によって管理されている原子炉センターの事務室ここで私は原子炉に仕掛けられた時
限爆弾を撤去するよう命じられる。すでに全職員は退去しているが、爆弾を仕掛けた男だけは中
に潜んでいる。一体その男はどこに居るのか、又時限爆弾はどこにあるのだろうか。早く爆弾を
撤去しなければならないのだが私の最初の行動範囲は実に狭くドアも容易には開けられない始末、
こんな時、昔の仲間が居てくれればすぐにドアぐらい開けてくれるだろうが今回の任務は私一人
で片づけなければならないのである。しかし私はかならずやこの任務を完遂してみせようと決意
を新たにしていると、私の目の前に一つの死体が現われた。この死体は原子炉に爆弾を仕掛けた
男で心臓が悪いと聞いていたがどうもその発作のために死んだらしい。この男が死んだ以上建て
物内部の構造も聞き出すことはできない。ここを乗り切るのに私は通常では考えられない物まで
使用しなくてはならないのである。又、昔は任務に備えて必要と思われる道具は全部持っていつ
たものだが、私は何も持たされずにこの任務に着かされてしまったのである。そのためにこのセン
ター内で道具さえ揃えなければならないのだ。とにかく私はこのセンターを自由に動き回れる方
法を早く見つけ出し、最後の仕事をするためにあらゆる物をかき集め、準備を整えなければなら
ない。

一刻も早く爆弾を撤去し、爆発を止めなければ！
このセンターを守れるのは私だけしか居ないのである。



Scott Adams

アドベンチャー ゲームのルーツをたどる上で、どうしても見落せないのがこの作品の著者スコット アダムスです。

彼の人柄を偲ばせる次のような有名な話があります。

1981年、サンフランシスコのコンピュータ フェアにアドベンチャー インターナショナルは大々的なブースを設けて参加していました。同じフェアの片隅に当時まだウィザード アンド プリンセスを発表したばかりのシェラ オンライン社が小じんまりとしたブースをかまえていたのです。

フェアを訪れた人々は口々にアドベンチャー ゲームの素晴らしさをたたえたのですが、また、彼らが望んでいたのはグラフィック アドベンチャーでもあったのです。アドベンチャー インターナショナルの作品は当時まだテキスト モードのものだけでしたし、シェラ オンラインは既にグラフィック アドベンチャーを発表していたのです。そこでスコット アダムスは彼ら全てをシェラ オンラインのブースへと案内したのです。

フェアの後、シェラ オンラインのロバータ ウィリアムズがやって来てなぜ彼らを案内して来たのか、私達は競争相手のはずだがとたずねたのです。スコット アダムスはこう言いました。

「私達はアドベンチャー ゲーム支持層という同一の顧客を相手にしているのです。今回は、シェラ オンラインの製品を買った人も、それが終わって次に何か買いたくなった場合は、私の作品を試してみようと考えてもらえるのじゃないですか。」と。

このように偏見にとらわれない、大局的な物の見かたの出来るスコット アダムスの人格は、同時に、自身の作品に対する強い自信に裏づけされて

いるのかも知れません。

ミスター アドベンチャーの愛称で親しまれているスコット アダムスですが出しゃばり嫌い。弊社の再三の要請にもかかわらず、写真の掲載を辞退していたのですが、ようやく3作目になって登場してもらえる事になりました。

発想の転換（「スコット・アダムス研究 上巻」より抜粋）

この冒険を完成させるためには、思いもかけない発想で切り抜けなければならないような難関がいくつかあります。

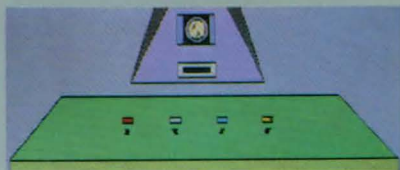
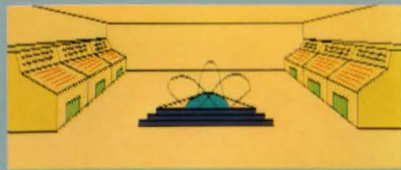
まず最初は灰色のドアを入る方法です。

このドアの先にはカード発行機があります。この発行機を使って、IDカードを手に入れるためにこの部屋に入ろうというのです。

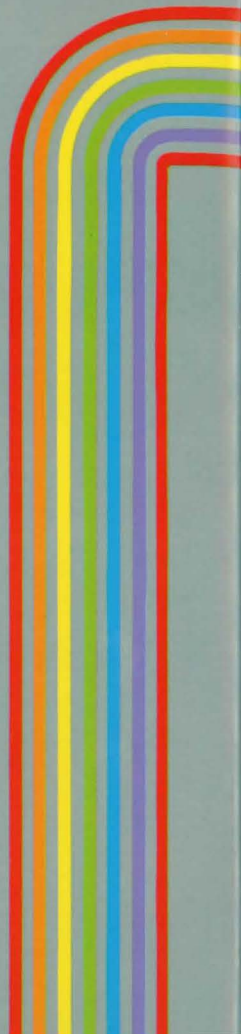
ここでは他人のカードを利用して、モニター・カメラをだます以外に方法はありません。

第二は二階の301号室から青いカギを手に入れる方法です。賢明なあなたのことです。このひと言のヒントでその方法を考えつかれたことと思います。

そして最後は、重くて運搬不可能な重水槽を別の部屋へ動かす方法です。つまり動かせない重水槽なら重水槽の支店を作ってみたらどうでしょう。



**MISSION
IMPOSSIBLE**



こんにちは諸君 今回の君の使命は最新技術によって管理されている原子炉センター内に仕掛けられた爆弾を撤去し爆発を食い止めることにある。このセンターは自動安全システムによりいつも監視されており容易にこの中を動き回ることはいないであろう。又、君はこのゲームの中でジム フェルプスとして登場し、この使命を完遂しなければならないのである。

ジム フェルプスとは10数年前「スパイ大作戦」というTVドラマに主人公として出ていた人物 4人の仲間とともに難解かつ危険な使命を解決していくのである。果して君はジム フェルプスになりきれるか。とに角、一刻も早くこの爆弾を撤去して欲しい。

